

令和4年度 第2回

大分県交通渋滞対策協議会資料

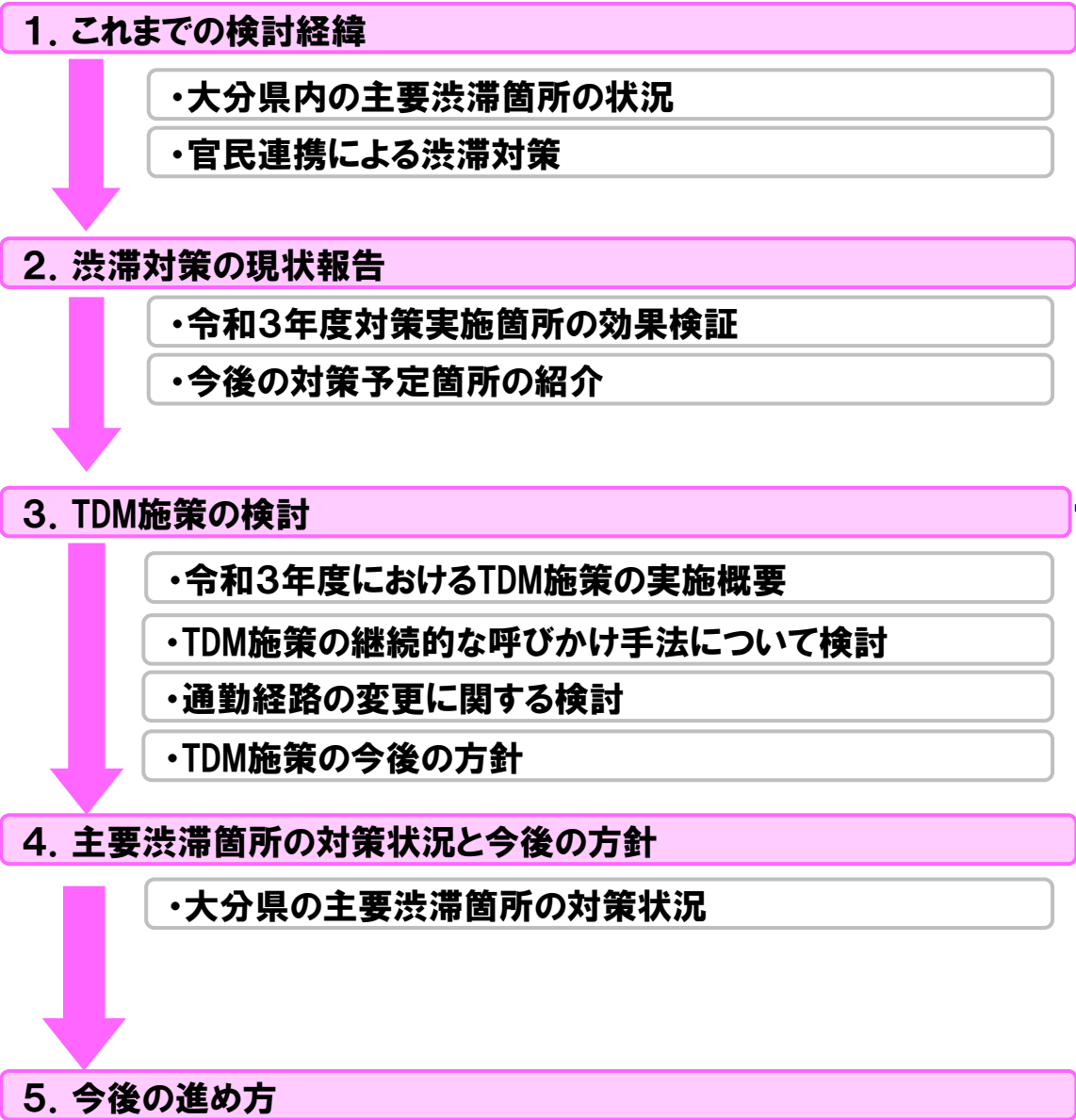
目 次

本日の報告事項・協議内容		1
1. これまでの検討経緯		2
2. 渋滞対策の現状報告		6
3. TDM施策の検討		10
4. 主要渋滞箇所の対策状況と今後の方針		24
5. 今後の進め方		26

令和5年3月23日（木）

本日の報告事項・協議内容

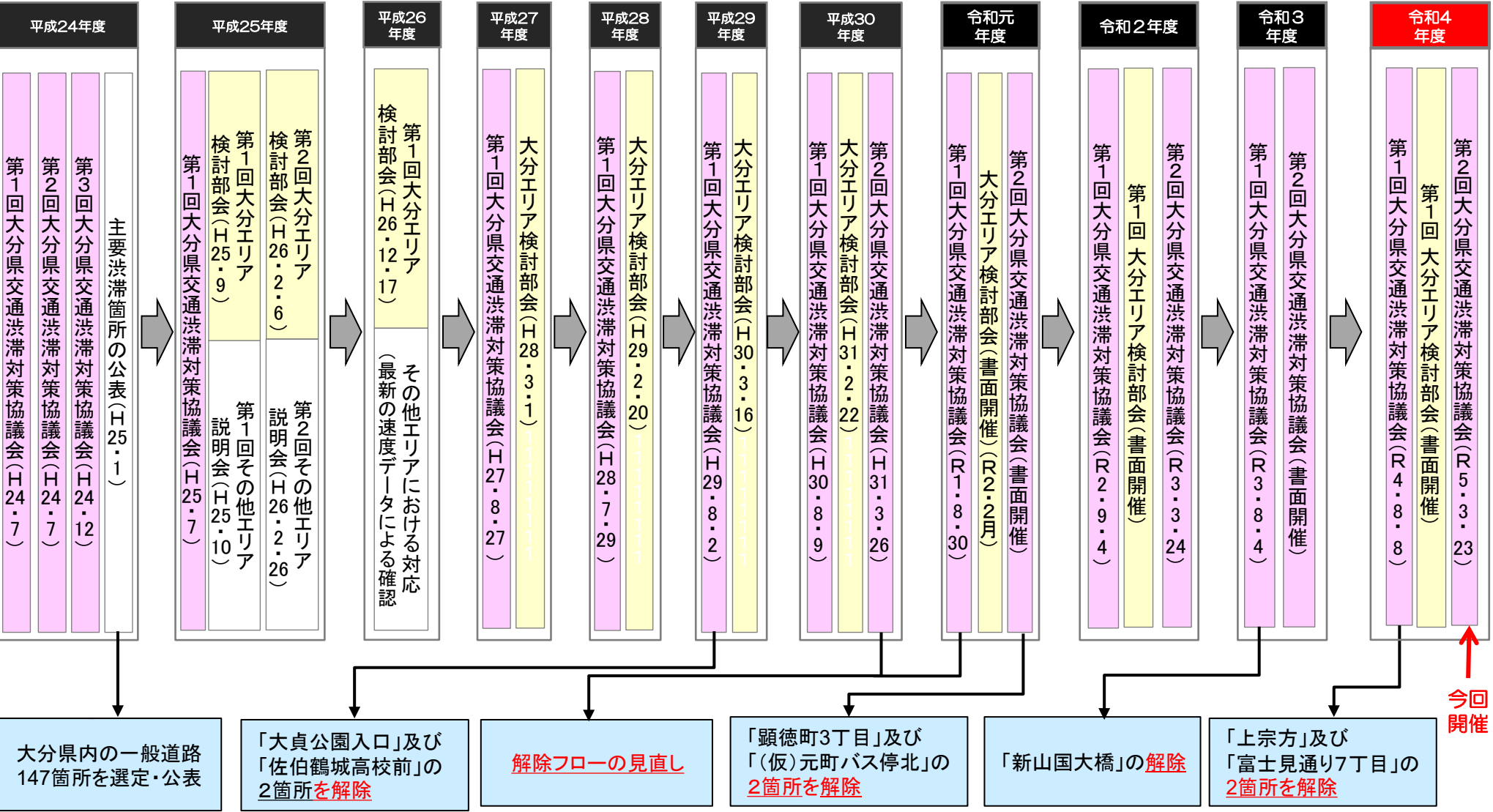
本日の議事内容のポイント



- ポイント1
令和3年度対策実施箇所の効果検証速報
- ポイント2
次年度実施予定のTDM施策検討内容

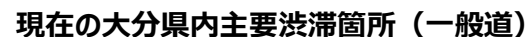
1. これまでの検討経緯

○平成25年1月に主要渋滞箇所を公表し、それ以降、主要渋滞箇所への対応の基本方針や、今後の取り組みに対する協議を実施



(1)大分県内の主要渋滞箇所の状況

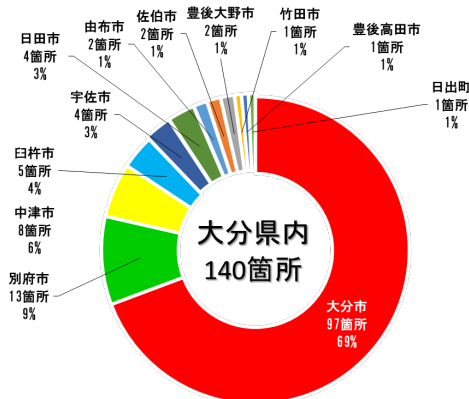
●主要渋滞箇所の状況



時期	主要渋滞箇所	内訳	
		集約区間数	箇所数
選定時 (H25.1)	147箇所	29区間 (82箇所)	65箇所
H29年渋滞協後 (H29.8)	145箇所	29区間 (82箇所)	63箇所
R1年渋滞協後 (R2.3)	143箇所	29区間 (80箇所)	63箇所
R3年渋滞協後 (R3.8)	142箇所	29区間 (80箇所)	62箇所
R4年渋滞協後	140箇所	29区間 (79箇所)	61箇所
解除済み箇所	7箇所	7箇所	

箇所：単独で主要渋滞箇所を形成
区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、
複数の主要渋滞箇所を含む区間

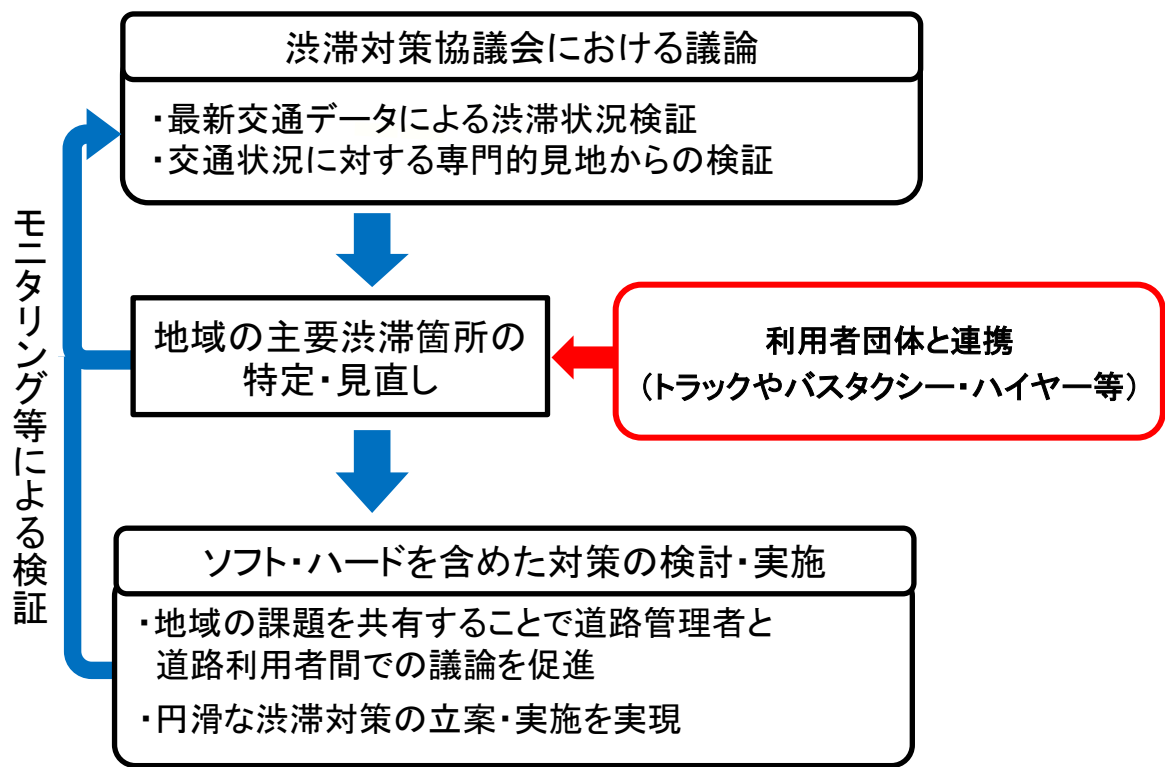
主要渋滞箇所（140箇所）の内訳



1. これまでの検討経緯

(2)官民連携による渋滞対策

○人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定したうえで、即効性のある渋滞対策を実施。



＜トラックが渋滞に巻き込まれている状況＞



＜バスが渋滞に巻き込まれている状況＞

引き続き、トラック・バス等事業者から見た渋滞箇所の対策を実施予定

1. これまでの検討経緯

(3)トラックやバス、タクシー・ハイヤー等の事業者からみた渋滞箇所一覧

トラック 事業者	国道10号 大分大学入口交差点付近 国道10号（～県道38号）中村交差点 県道22号 中島十条交差点付近 国道197号・県道614号 鶴崎橋東交差点付近 国道10号 金池～県道21号 加納西 国道10号 大分市高江付近 国道10号 東別府付近 国道10号 宮崎交差点付近 国道197号 鶴崎方面 県道22号 日本製鉄正面交差点～西生石 (西生石交差点 新川交差点 中島十条交差点 西中浜交差点 新日鉄正門交差点) 国道10号 敷戸団地入口～判田郵便局前 (敷戸団地入口交差点 東木団地入口交差点 大南団地入口交差点) R5年度実施予定	国道210号 椎迫入口付近 国道210号 挾間三差路 国道210号 挾間町郵便局先 県道22号 新川交差点 県道21号・県道208号 金の手交差点付近 県道614号 川添橋東交差点付近 国道197号・県道685号 乗越交差点 国道10号 西生石交差点付近
バス 事業者	国道10号 流川通り交差点付近 R4年度実施 国道10号 かんたん交差点付近	国道10号 大分駅前交差点付近 国道10号 西生石交差点付近
ハイヤー・ タクシー 事業者	国道10号 大分駅前交差点 国道10号 錦町2丁目交差点～元町方面 国道10号 府内大橋上下線 国道210号 羽屋交差点	国道210号 椎迫入口交差点 国道197号 鶴崎駅前交差点 県道21号 加納交差点 県道22号 中島十条交差点

：対策実施済箇所

：今年度（R4年度）対策実施箇所

：次年度（R5年度）対策実施予定箇所

出典：全国道路利用者会議（R4年度）

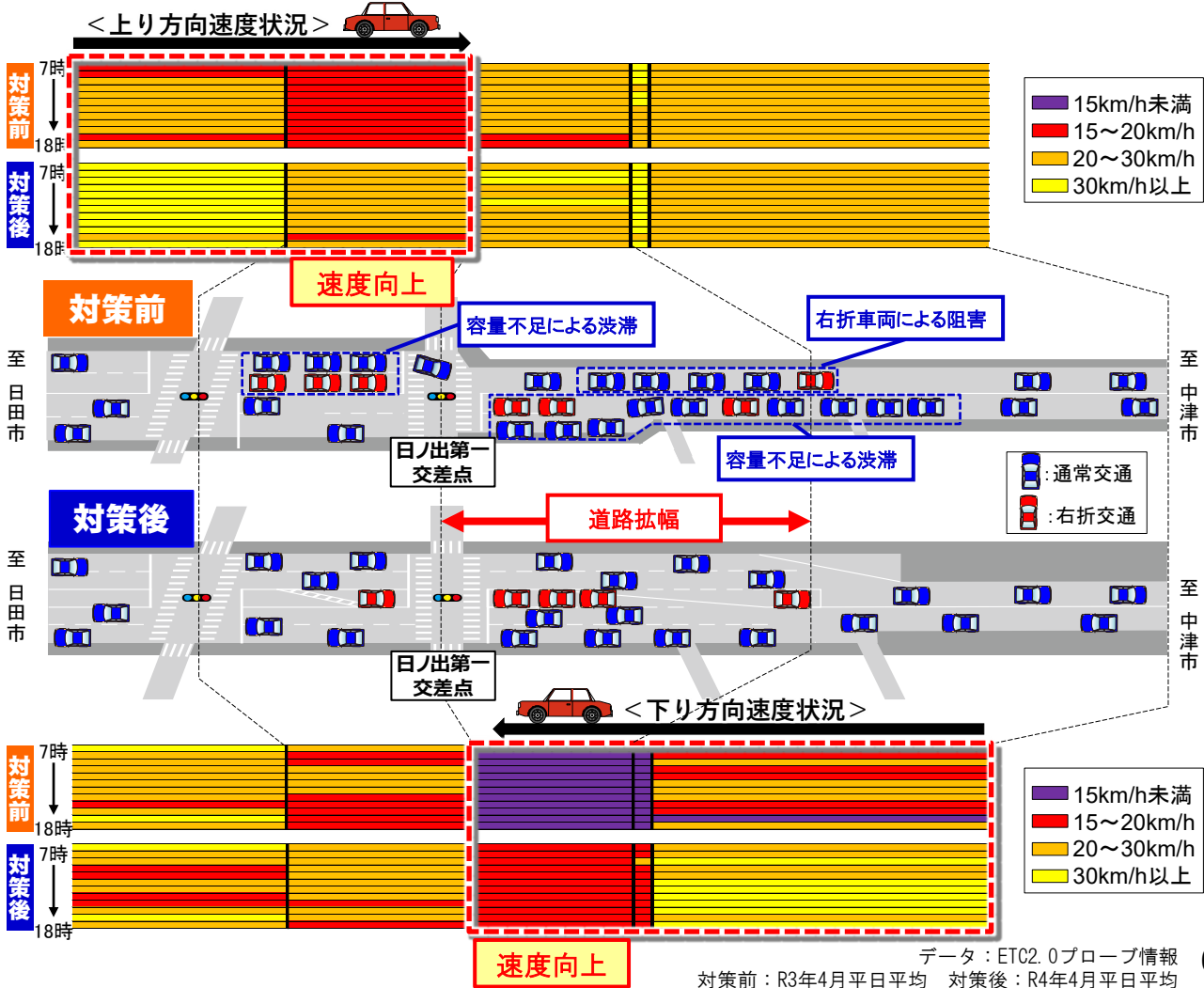
2. 渋滞対策の現状報告

(1) 令和3年度対策実施箇所の効果検証(速報)

① 日ノ出第一交差点【国道212号日田拡幅】

- 令和4年3月に「国道212号日田拡幅」の事業が一部完了。
- 当該事業により日ノ出第一交差点では、国道212号上下方向で速度向上が見られる。

《位置図》



対策前



対策後



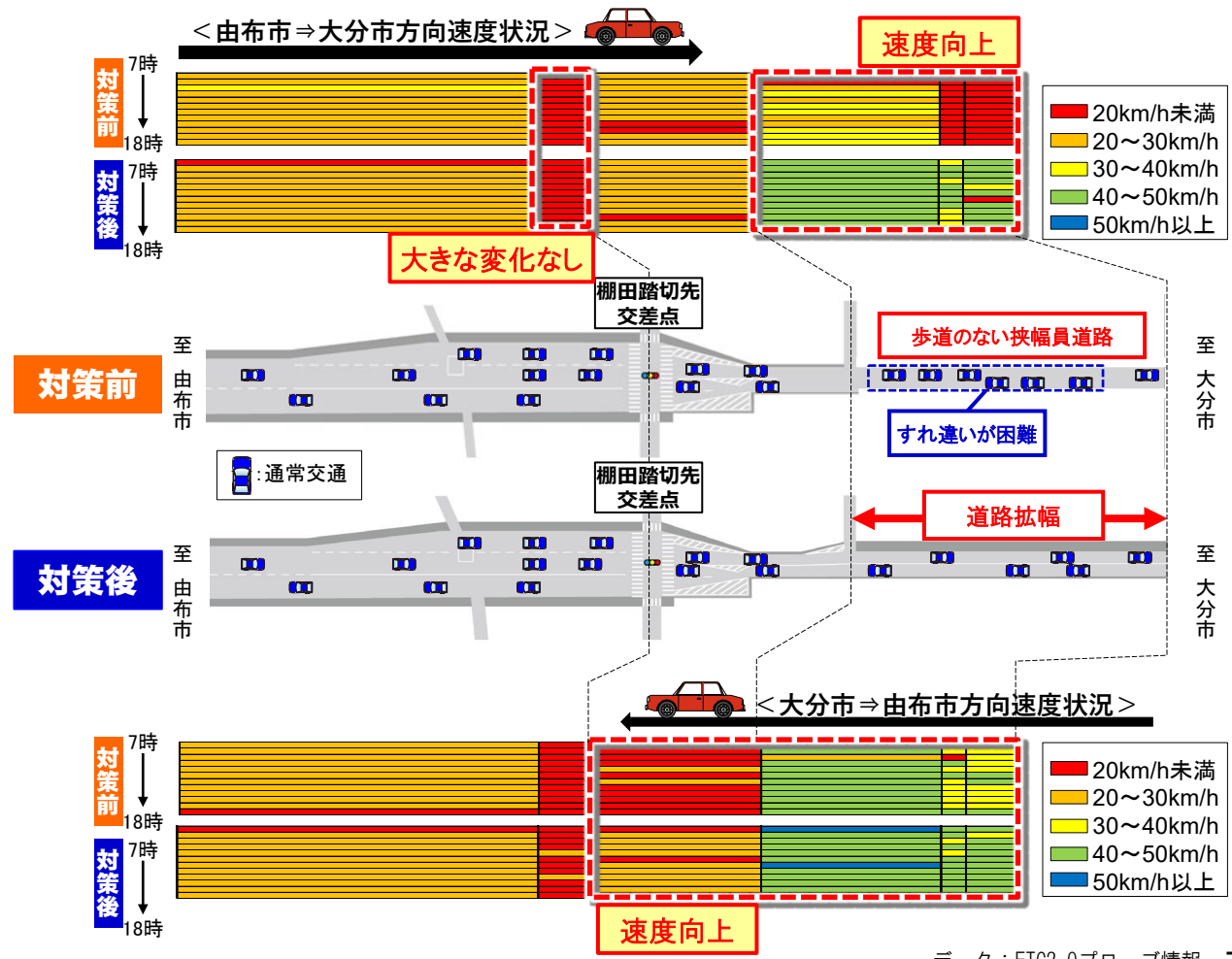
2. 渋滞対策の現状報告

(1) 令和3年度対策実施箇所の効果検証(速報)

② 棚田踏切先交差点おばさまおいたせん かためんこうく【小挾間大分線・片面工区】

- 令和3年6月に「小挾間大分線・片面工区」の現道拡幅事業が完了。
- 当該事業により、拡幅区間では速度向上が見られる。棚田踏切先交差点では大分市から由布市に向かう方向で速度向上が見られる。

◀位置図▶



2. 渋滞対策の現状報告

(2)令和4年度の官民連携による渋滞対策実施箇所 <国道10号 流川通り交差点>

バス事業者

- 二段停止線により、交差点の構造が拡大していることで平日・休日ともに渋滞が発生。
- 令和5年1月に国道10号の停止線を前出しし交差点をコンパクト化する対策を実施。今後、効果検証を実施する。

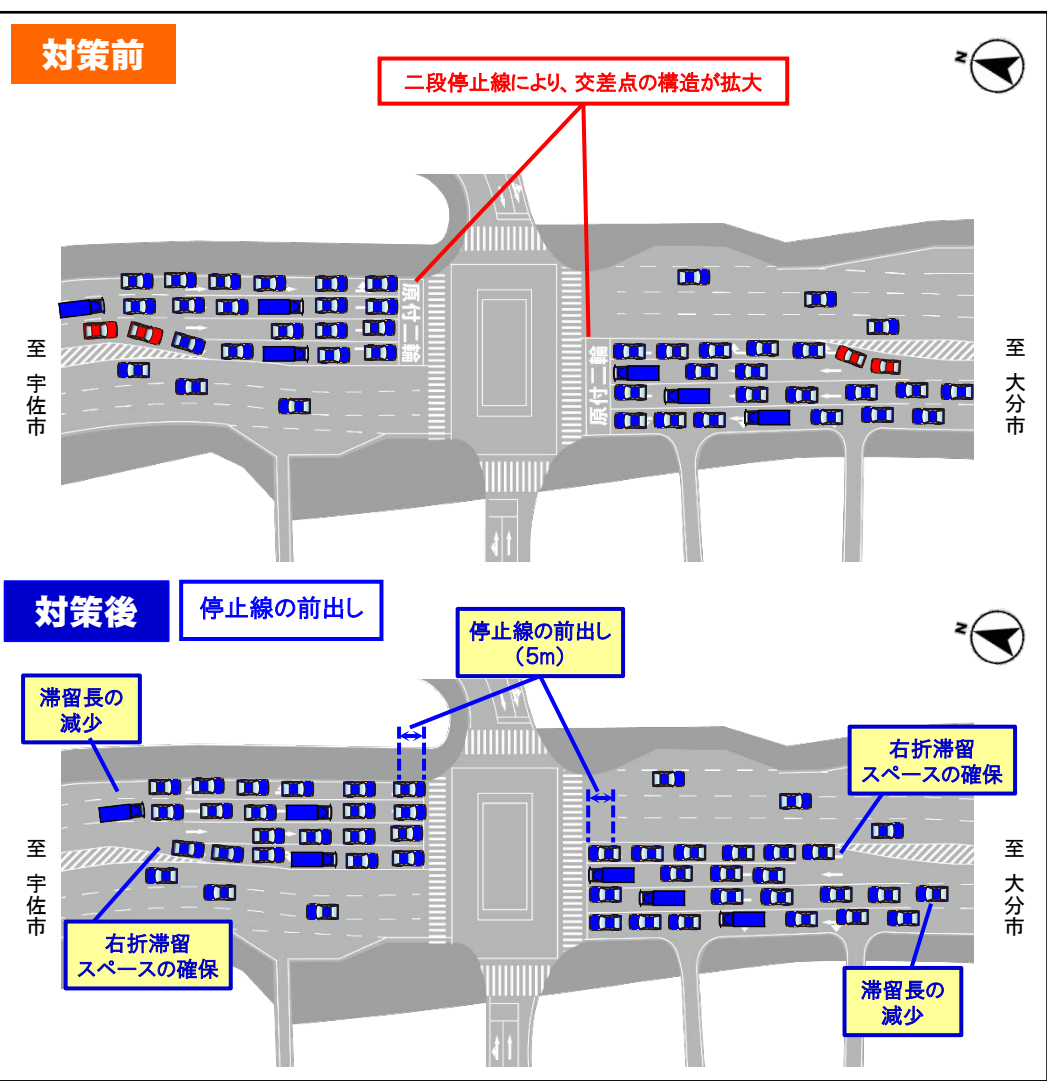
<< 位置図 >>



<< 交通状況 >>



<< 説明図 >>



<< 広域図 >>



2. 渋滞対策の現状報告

(3)令和5年度の官民連携による渋滞対策実施予定箇所 <国道10号 東木団地入口交差点>

トラック事業者

- 右折レーンの滞留長が不足していることにより、渋滞が発生。
- 国道10号の停止線の前出し及び、導流帯の見直しにより右折滞留長を確保することで、渋滞緩和を図る。

<< 位置図 >>

<< 交通状況 >>

<< 説明図 >>

<< 位置図 >>



<< 広域図 >>



3. TDM施策の検討

R3年度 第2回大分県交通渋滞対策協議会議資料 より作成

(1)令和3年度におけるTDM施策の実施概要

○令和3年度は、大分市内において、「経路変更」「公共交通・自転車利用促進」「時差出勤奨励」「テレワーク奨励」などのTDM施策を試行的に実施。

毎日の“自動車通勤”による 渋滞のイライラ解消しませんか？

大分県渋滞対策協議会では、大分市中心部における通勤時間帯の渋滞緩和を目的として、**大分市中心部へお勤めの皆様は自動車通勤の手段変更等をお勧め**しています。

試行期間：令和3年12月6日(月)～12月17日(金)

上記期間を「試行期間」とし、通勤に重点をおいて自転車通勤経路の変更、自転車や公共交通への転換及び、時差出勤・テレワーク等により渋滞の緩和を図ります。
積極的な参加をお願い致します！
これを機に、是非通勤方法を見直してみませんか？

◆ 参加頂ける場合は下記URLまたは右記QRコードからお申込みください！

◆ 既に同様の取組みを実施している場合も、ご賛同頂く形でお申し込みください！

<https://questant.jp/q/1340E430>



試行TDM施策

通勤経路の変更

○迂回していない経路への転換を促します



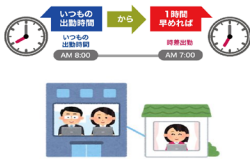
通勤手段の変更

○自動車から公共交通や自転車へ手段変更を促します



時差出勤・テレワーク

○通勤時間の平準化や通勤交通の抑制を促します



参加のメリット

参加企業はこんなメリットがあります

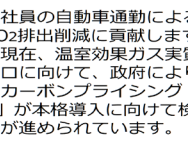
① 企業のイメージアップが期待できます

通勤時の渋滞対策やCO2排出削減などの地球温暖化の防止に積極的に努める企業として公表予定であり、企業の宣伝やイメージアップを図ることができます。



② 企業のCO2排出削減が見込まれます

社員の自動車通勤によるCO2排出削減に貢献します。現在、温室効果ガス実質ゼロに向けて、政府により「カーボンプライシング」※が本格導入に向けて検討が進められています。



③ 通勤ストレスの改善や健康増進が図られます

通勤にかかる時間が短縮するのでストレスもなくなります。また、徒歩や自転車通勤により運動量が増えるため、健康増進が期待できます。



④ ガソリン代を節約し家計を支援します

スイスイ走ることにより、燃費もよくなり、ガソリン代をお得に！ムダな支出がなくなり、家計も大助かりです。



今回の取り組み内容について

別添2

渋滞緩和に向けた取り組みを実施します

試行期間：令和3年12月6日(月)～12月17日(金)

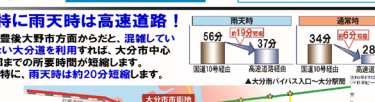
上記期間を「試行期間」とし、ご賛同して下さった企業・団体の皆様とともに、自動車通勤経路の変更、自転車や公共交通への転換及び、時差出勤・テレワーク等により渋滞の緩和を図ります。
これを機に、皆様も普段の通勤手段を見直してみませんか？

工夫して渋滞リスクを回避し、環境にも優しい大分をつくろう。

「国道や駅前って交通量多いもんね」と渋滞の中に入るときに

出勤ルート を 工夫してみよう

特に雨天時は高速道路！



大分市市街地



☆：主要渋滞箇所

健康増進のために！

自転車 を 利用してみよう

健康増進のために！
朝から渋滞の心配でハラハラ、イライラしないために、自転車に乗って余裕のある通勤をしてみませんか。日々の通勤量が減ると心身ともに健康増進のチャンスです。



健康増進
通勤する心身ともに健康増進！

コスト削減！
会社近くのバイクに預けて通勤！
会社近くのバイクに預けて通勤！
会社近くのバイクに預けて通勤！

シェアサイクル
(おさいのサイクルシェア)
自転車を買わなくていい！
大分市シェアサイクルバスライド



通勤時間を短縮時間として使いたい、寝不足で気分がスグヤルしない、通勤が苦手な人などは

公共交通 を 利用してみよう

地球環境に配慮しよう！
大分市中心市街地への通勤手段で、公共交通機関の利用は24%です。マイカー通勤の方が鉄道やバスでの通勤へ変わることで、渋滞緩和だけでなく様々なメリットがあります。



エコな通勤、はじめてませんか？
毎週水曜日、大分市内および別府市内への通勤に使える！
エコ通勤割引バス



エコ通勤割引バス
マイカーと公共交通を組み合わせ移動！
パークアンドライド



通勤時にみんなが同じ時間、同じ場所に集まって渋滞が起こってしまうので

時差出勤やテレワーク を 試そう

時間を効率的に使おう！
例えば、通勤時間を約1時間早めたり遅らせたりすることで、通勤時間の短縮が見込めます。また、時差出勤が難しい場合でも、テレワークにより渋滞緩和に寄与することができます。



通常時
約1時間遅く出勤すること
約10分短縮

雨天時
約1時間遅く出勤すること
約25分短縮



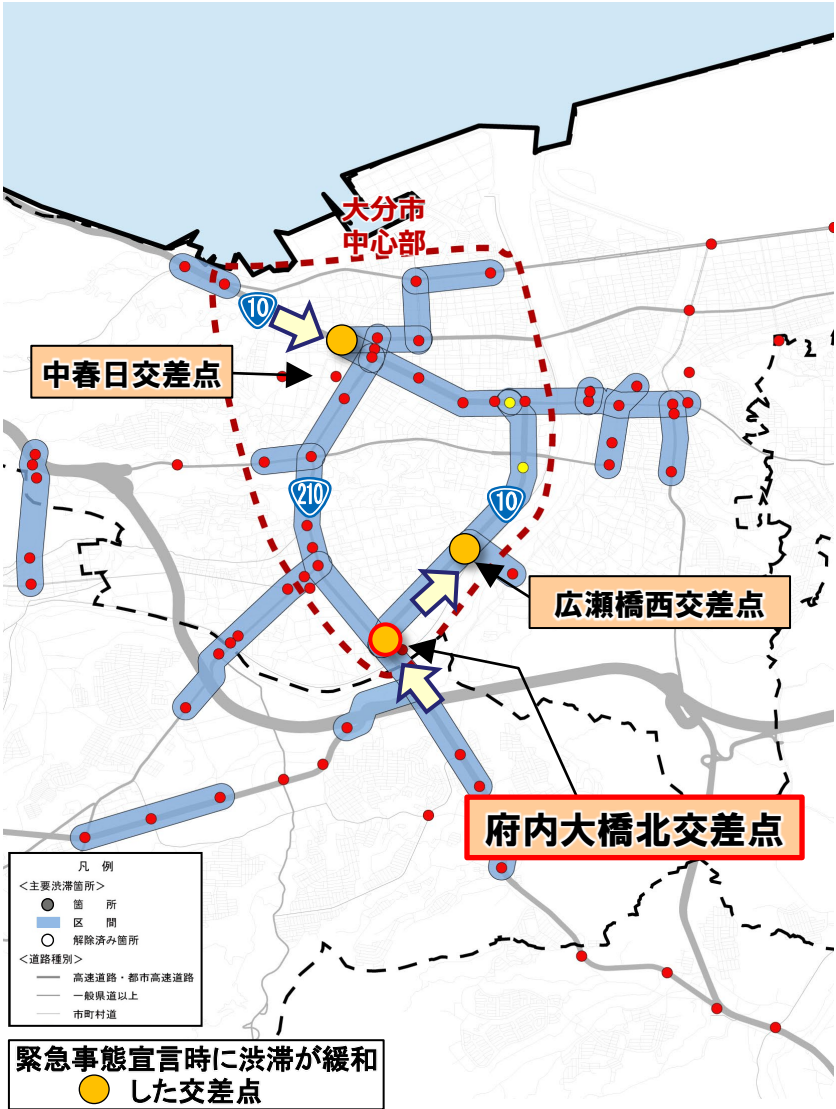
3. TDM施策の検討

R3年度 第2回大分県交通渋滞対策協議会議資料 より作成

(2)令和3年度におけるTDM施策の検証結果

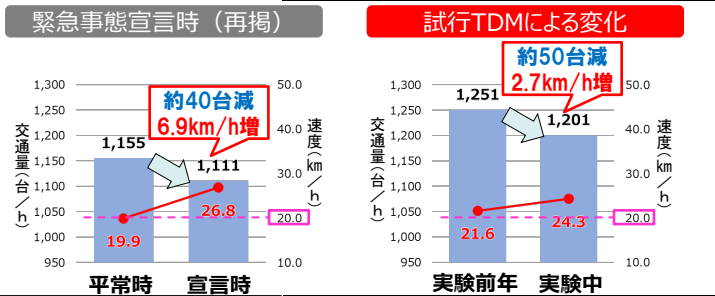
- 「府内大橋北交差点」「広瀬橋西交差点」「中春日交差点」では、社会実験の前年と比較して交通量が20～50台/時減少。
- それに伴って、速度は約2～3km向上。

①TDM社会実験による効果分析検証交差点

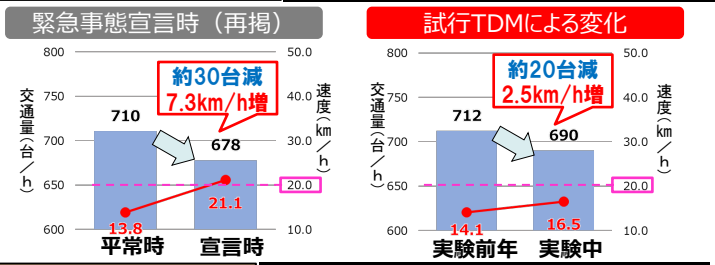


②効果検証結果(朝ピーク時の比較)

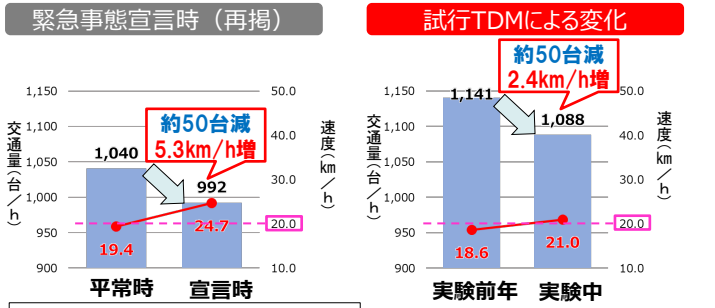
府内大橋北交差点 ⇒約50台/時の減少を確認



広瀬橋西交差点 ⇒約20台/時の減少を確認



中春日交差点 ⇒約50台/時の減少を確認



凡例: 交通量(台/h) 速度(km/h)

データ: ETC2.0平日朝ピーク(7-8時台)平均

平常時: R2.10.1~R2.12.25

宣言時: R2.4.17~R2.5.14

実験前: R2.12.7~R2.12.18 (社会実験期間の一年前)

実験中: R3.12.6~R3.12.17

※20km/h: 主要渋滞箇所特定時の速度基準に該当

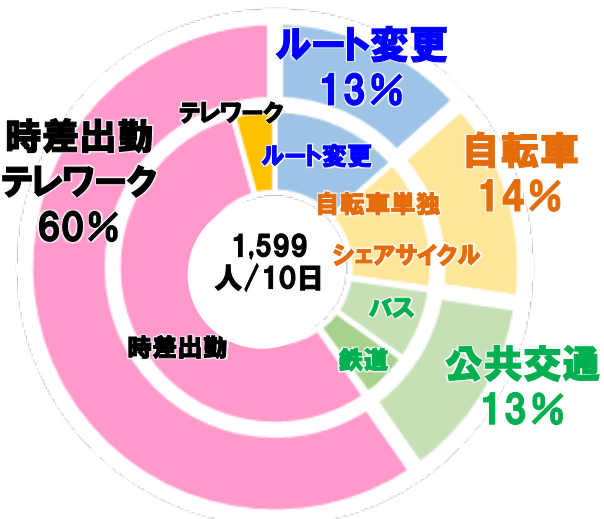
3. TDM施策の検討

(3)令和3年度におけるTDM施策の検証結果

○令和3年度施行TDMでは「通勤ルートの変更」、「自転車通勤」、「公共交通通勤」、「時差出勤・テレワーク」を呼びかけ10日間で延べ1,599人の参加を得た。

○各施策参加者へのアンケート結果より、TDM施策の参加要因は、「会社や組織の取組みであるため」という声が多く寄せられました。

○施策別自動車からの転換状況



資料：参加者調査N=350（通常時自動車利用者のみ）

通勤ルートの変更	自転車通勤	公共交通通勤	時差出勤・テレワーク																																																
時間短縮や快適性のPR	健康増進や快適性のPR	快適性や時間の有効活用のPR	時間の有効活用や快適性のPR																																																
毎日渋滞で疲れる 渋滞していない道もあったね	健康の増進 自宅からバス停・バス停から職場への自転車移動で、運動量が増えます。 運動すると体の調子がいいね	移動時間に時間が有効に使える 運転は疲れるけど公共交通は快適	通勤がなくて快適 ピーク時間を避けるとスムーズ																																																
Q:TDM施策を実施した理由																																																			
<table border="1"><thead><tr><th>理由</th><th>回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>会社や組織の取組であるため</td><td>27</td></tr><tr><td>広報チラシ・ポスターを見て</td><td>6</td></tr><tr><td>記者発表資料を見て</td><td>2</td></tr><tr><td>新聞・テレビを見て</td><td>1</td></tr><tr><td>その他</td><td>1</td></tr></tbody></table> N=32	理由	回数	会社や組織の取組であるため	27	広報チラシ・ポスターを見て	6	記者発表資料を見て	2	新聞・テレビを見て	1	その他	1	<table border="1"><thead><tr><th>理由</th><th>回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>会社や組織の取組であるため</td><td>42</td></tr><tr><td>広報チラシ・ポスターを見て</td><td>3</td></tr><tr><td>記者発表資料を見て</td><td>2</td></tr><tr><td>新聞・テレビを見て</td><td>2</td></tr><tr><td>その他</td><td>4</td></tr></tbody></table> N=47	理由	回数	会社や組織の取組であるため	42	広報チラシ・ポスターを見て	3	記者発表資料を見て	2	新聞・テレビを見て	2	その他	4	<table border="1"><thead><tr><th>理由</th><th>回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>会社や組織の取組であるため</td><td>56</td></tr><tr><td>広報チラシ・ポスターを見て</td><td>6</td></tr><tr><td>記者発表資料を見て</td><td>4</td></tr><tr><td>新聞・テレビを見て</td><td>0</td></tr><tr><td>その他</td><td>3</td></tr></tbody></table> N=61	理由	回数	会社や組織の取組であるため	56	広報チラシ・ポスターを見て	6	記者発表資料を見て	4	新聞・テレビを見て	0	その他	3	<table border="1"><thead><tr><th>理由</th><th>回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>会社や組織の取組であるため</td><td>116</td></tr><tr><td>記者発表資料を見て</td><td>5</td></tr><tr><td>新聞・テレビを見て</td><td>3</td></tr><tr><td>広報チラシ・ポスターを見て</td><td>2</td></tr><tr><td>その他</td><td>6</td></tr></tbody></table> N=125	理由	回数	会社や組織の取組であるため	116	記者発表資料を見て	5	新聞・テレビを見て	3	広報チラシ・ポスターを見て	2	その他	6
理由	回数																																																		
会社や組織の取組であるため	27																																																		
広報チラシ・ポスターを見て	6																																																		
記者発表資料を見て	2																																																		
新聞・テレビを見て	1																																																		
その他	1																																																		
理由	回数																																																		
会社や組織の取組であるため	42																																																		
広報チラシ・ポスターを見て	3																																																		
記者発表資料を見て	2																																																		
新聞・テレビを見て	2																																																		
その他	4																																																		
理由	回数																																																		
会社や組織の取組であるため	56																																																		
広報チラシ・ポスターを見て	6																																																		
記者発表資料を見て	4																																																		
新聞・テレビを見て	0																																																		
その他	3																																																		
理由	回数																																																		
会社や組織の取組であるため	116																																																		
記者発表資料を見て	5																																																		
新聞・テレビを見て	3																																																		
広報チラシ・ポスターを見て	2																																																		
その他	6																																																		

3. TDM施策の検討

(3)継続的なTDM施策の実施に向けた検討方針

○今年度は、昨年度試行的に実施したTDMの結果を踏まえ、今後の継続的なTDM施策の立案を行った。

○今年度の検討内容

今後の推進施策	今年度の検討内容
・TDM施策の継続的な呼びかけ	・昨年度参加協力を頂いた企業・事業者等に対して追跡アンケートを実施するなど、効果的な広報の方法を検討
・通勤経路の変更に関する検討	・最短経路のリアルタイムでの情報提供手法の事例を収集し、大分市内で実施する場合の課題等を検討

(4)TDM施策の継続的な呼びかけ手法についての検討②賛同企業への追跡アンケート概要

■アンケート調査概要

今回の取り組み趣旨に賛同下さった企業・団体

(敬称略 五十音順)

※上記の他、大分県交通渋滞対策協議会に所属する官公庁・企業等(計:10事業者)にて実施



資料：大分河川国道事務所 記者発表資料(令和3年11月26日)

■贊同企業立地箇所

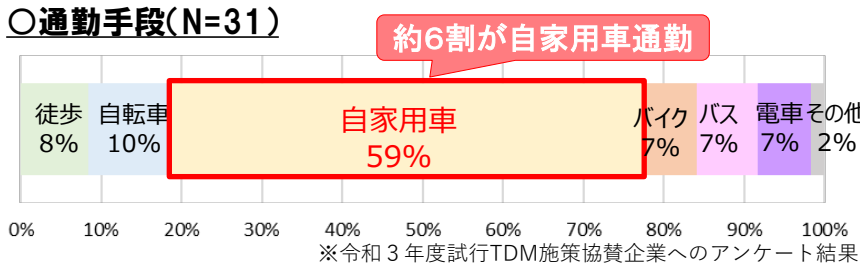
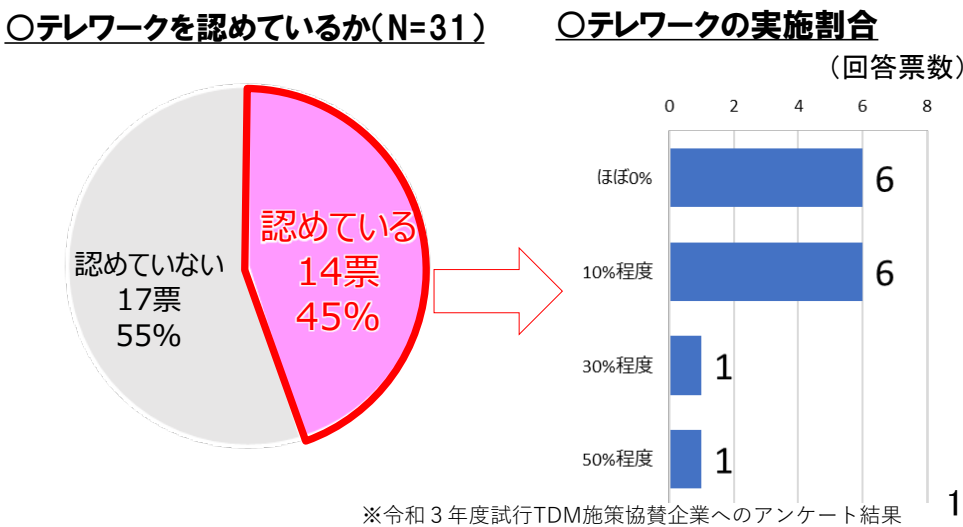
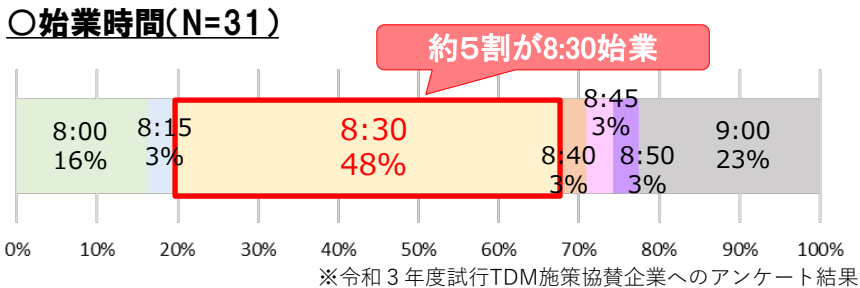
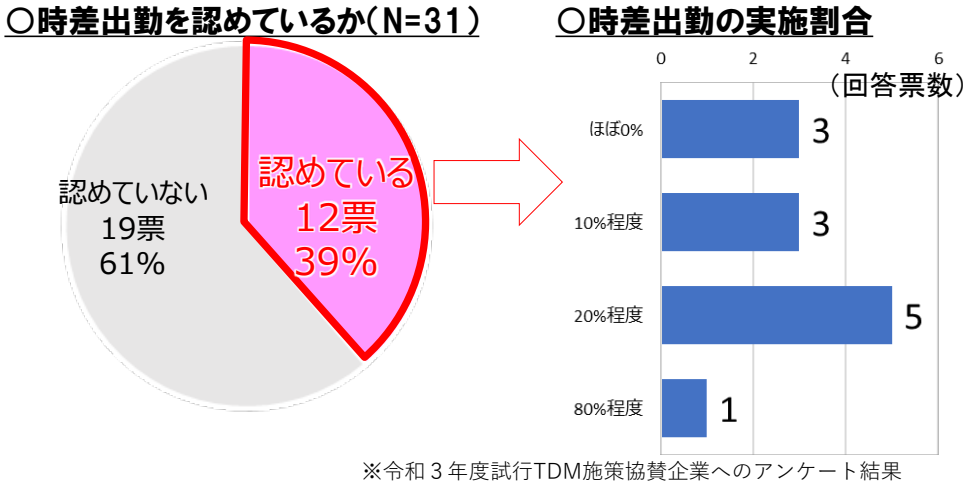
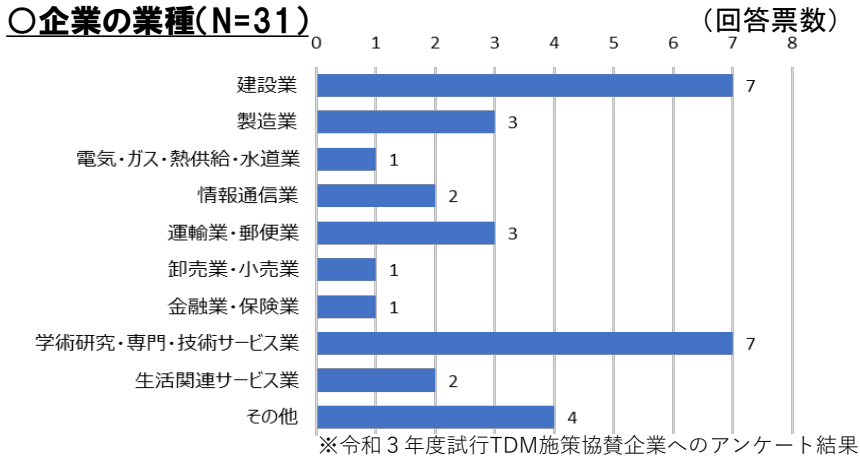


3. TDM施策の検討

(4) TDM施策の継続的な呼びかけ手法についての検討

③協賛企業への追跡アンケート結果-企業概要(業種や通勤・勤務実態等)-

○令和3年度施行TDMに参加した企業・団体の業種は「建設業」や「学術研究・専門・技術サービス業」が多い。
○始業時間は8:30が約半数を占め、通勤手段は自家用車が約6割を占めている。
○時差出勤・テレワークは制度として認めている企業が約4割あるが、実施割合は低水準となっている。



3. TDM施策の検討

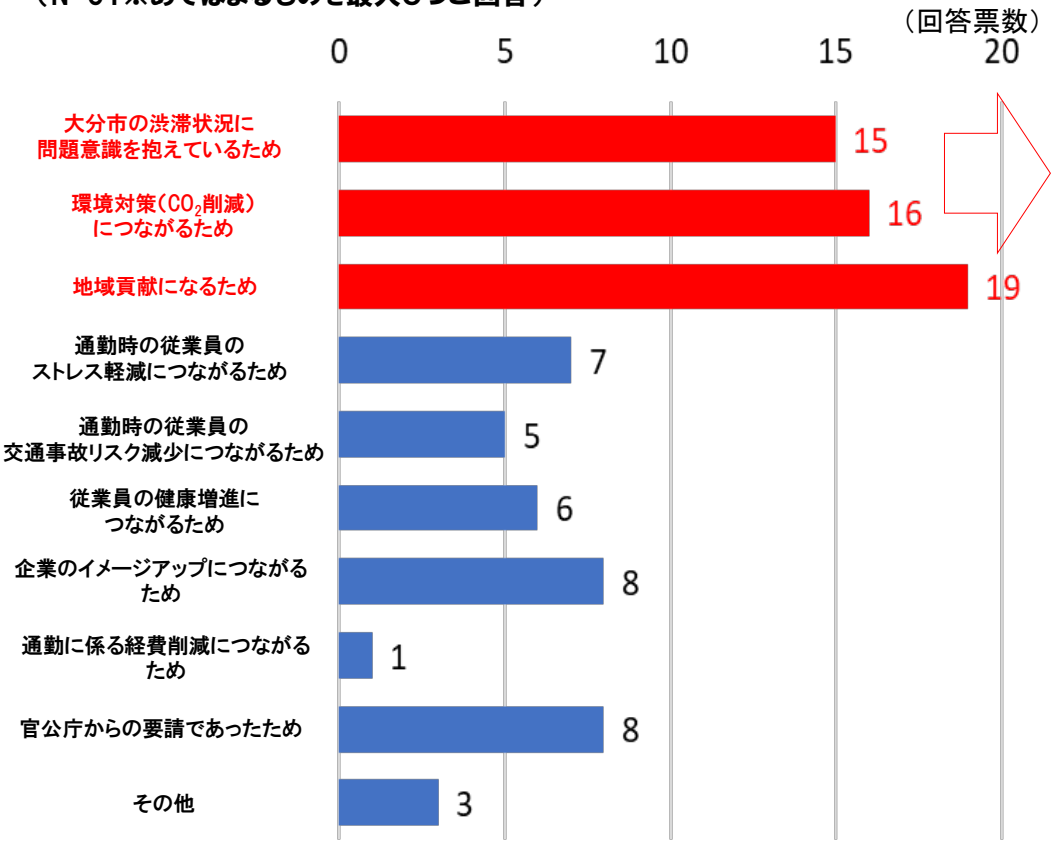
(4) TDM施策の継続的な呼びかけ手法についての検討

③賛同企業への追跡アンケート結果-令和3年度のTDM施策への賛同理由-

○令和3年度のTDM施策に賛同頂いた理由は、「地域貢献になるため」、「環境対策につながるため」、「大分市の渋滞状況に問題意識があるため」の順で回答が多い。

○次年度は、これらの項目についての広報を強化し、賛同企業の拡充を図る。

Q:R3年度のTDM施策に賛同頂いた理由
(N=31※あてはまるものを最大3つご回答)



※複数回答のため、回答数の合計と回答者数は一致しない
※令和3年度試行TDM施策賛同企業へのアンケート結果

■次年度TDMの広報方針①

上位3項目をより訴求する広報を実施		
	R3年度広報内容	R5年度広報強化（案）
渋滞状況	・主要渋滞箇所の位置を示し広報を実施	・主要渋滞箇所に加えて、混雑時の写真や速度状況を示し大分市の渋滞課題を訴求
環境対策	・カーボンプライシングを絡めて広報を実施	・継続的に訴求 ・R3年度実施時のCO₂削減量を記載し、効果を実感してもらう
地域貢献	・明確な記載はなし	・地域貢献を訴求する内容を追加（渋滞緩和・環境対策に加え、公共交通利用促進等）

3. TDM施策の検討

(4) TDM施策の継続的な呼びかけ手法についての検討

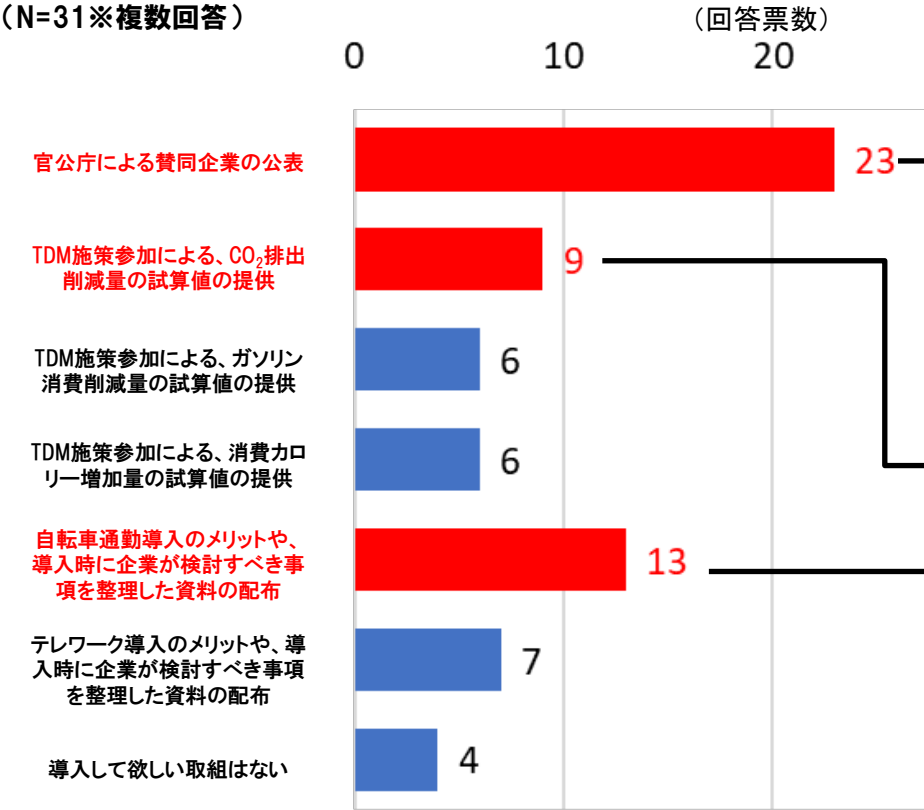
③賛同企業への追跡アンケート結果-短期的に実施可能な企業へのインセンティブの把握-

- 短期的に実施可能な取組として「官公庁による賛同企業の公表」「自転車通勤導入のメリット等の整理」「CO₂排出削減量の試算値の提供」を求める意見が多い。
- 次年度は、これらの項目についての取組を実施し、賛同企業の拡充を図る。

Q:今後、継続的にTDM施策に賛同頂くために求められる取組

※短期的に実施可能な内容について調査

(N=31※複数回答)



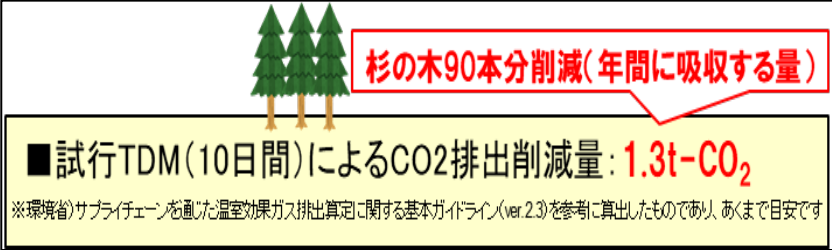
■次年度TDMの広報方針②

賛同企業の公表（記者発表・新聞掲載）は継続的に実施



▲昨年度の公表例（大分合同新聞）

参加人数・状況からCO₂排出削減量を試算し、公表



▲昨年度の公表例

自転車通勤のメリット（企業・従業員の立場双方）を整理し、配布する

※複数回答のため、回答数の合計と回答者数は一致しない
※令和3年度試行TDM施策賛同企業へのアンケート結果

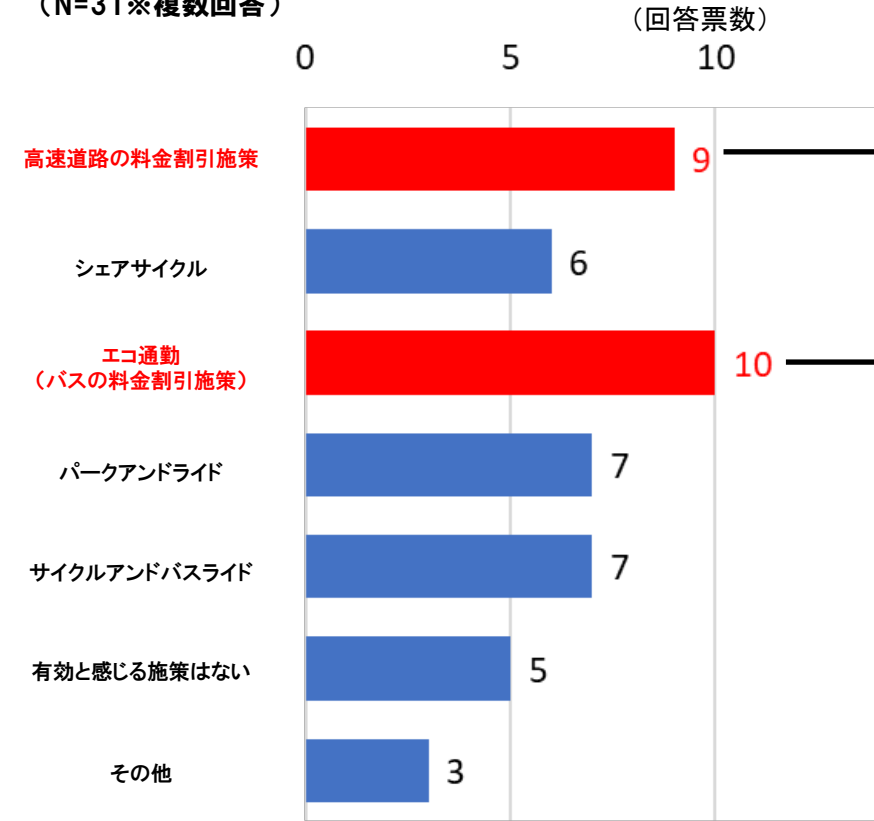
3. TDM施策の検討

(4) TDM施策の継続的な呼びかけ手法についての検討

③賛同企業への追跡アンケート結果-中長期的な取組強化施策について-

- 企業にとって、中長期的に有効と感じる施策は「高速道路の料金割引施策」や「エコ通勤(バスの料金割引施策)」という意見が多い。
- 今後、関係機関と連携を取って取組推進に向けた検討を行う。

Q:中長期的に、TDM施策を推進する上で有効と感じる施策について
(N=31※複数回答)



※複数回答のため、回答数の合計と回答者数は一致しない
※令和3年度試行TDM施策賛同企業へのアンケート結果

■中長期的な方針 ①高速道路の料金割引施策

【既存】
平日朝夕時間を対象とした割引

平日朝夕割引

大分県内指定区間以外
事前登録
毎月還元

地方部区間最大100km相当分までの
1ヶ月の対象走行回数が
10回以上で 約50%分還元
5~9回で 約30%分還元
(1~4回の場合は対象外)

対象走行: 平日(土・日・祝日除く) 6時~9時/17時~20時の対象区間を含むご利用

※NEXCO資料

- 【中長期的な方針】
- 1) 継続的な広報を実施
 - 2) 利用拡大に向けた検討を実施

②エコ通勤

【既存】
自家用車またはバイクで通勤している人が
毎週水曜日にバスで通勤する場合に運賃
を半額に割り引く取組み

エコ通勤割引バス

氏名 めじろん

大分県エコ通勤割引
利用推進協議会長

※大分県資料

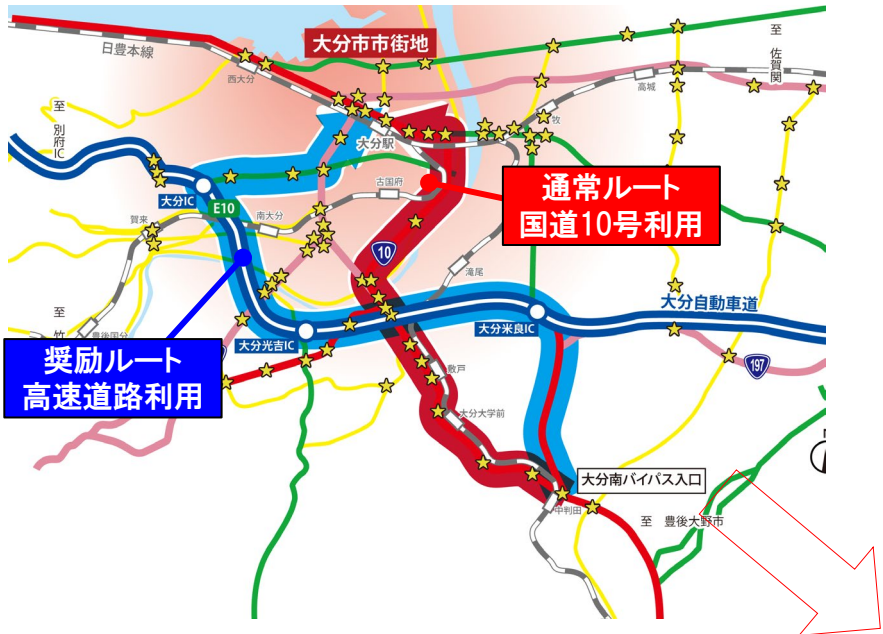
- 【中長期的な方針】
- 1) 継続的な広報を実施
 - 2) 利用拡大に向けた検討を実施

3. TDM施策の検討

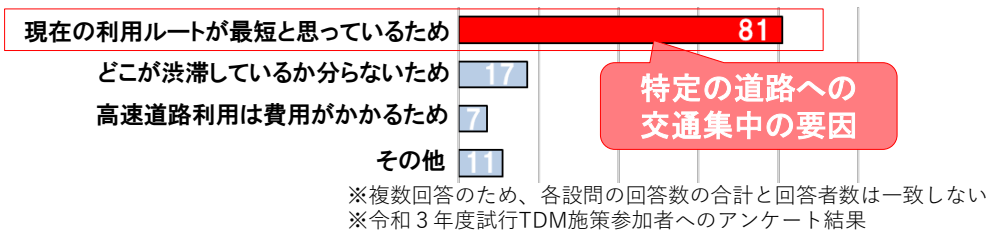
(5)通勤経路の変更に関する検討①令和3年度TDM実施時の通勤経路変更施策の実施内容と課題

- 昨年度は、高速道路を用いた転換ルートを奨励し、利用者からの高評価や所要時間短縮の結果を得た。
- 一方で、通勤経路を変更しなかった理由として「現在のルートが最短と思っている」が多くを占め、特定の道路への交通集中の一因と想定される。そのため、利用者にリアルタイムで適切な情報提供できる手法検討のため事例を収集した。
- また、昨年度は特定の経路のみを推奨しており、参加者が少なかった。そのため、大分市中心部へ流入する自動車利用者に面的に経路変更を促す手法の検討を実施した。

■大分道利用ルート(社会実験奨励)



■通勤経路を変更しなかった理由 ※通常時自動車を利用する TDM不参加者(N=98人)

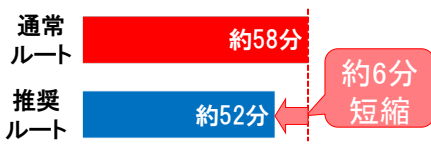


- 課題①：**通勤経路の変更を実施しなかった方は、現在の利用ルートが最短と感じており、特定の道路へ交通が集中

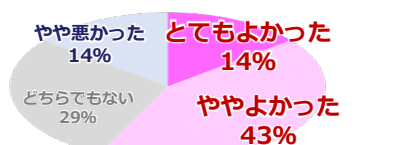
対応①：通勤時間最短ルートについて、自動車利用者にリアルタイムで適切な情報提供をできる手法を検討するために事例収集
- 課題②：**昨年度は特定の経路のみを推奨しており、参加者が21人と少なかった

対応②：大分市中心部へ流入する自動車利用者に対して面的に経路変更を促す手法を検討

■所要時間の変化 ※高速道路利用者(N=21人)



■高速道路への経路変更の感想 ※高速道路利用者(N=21人)



※令和3年後試行TDM施策参加者へのアンケート結果

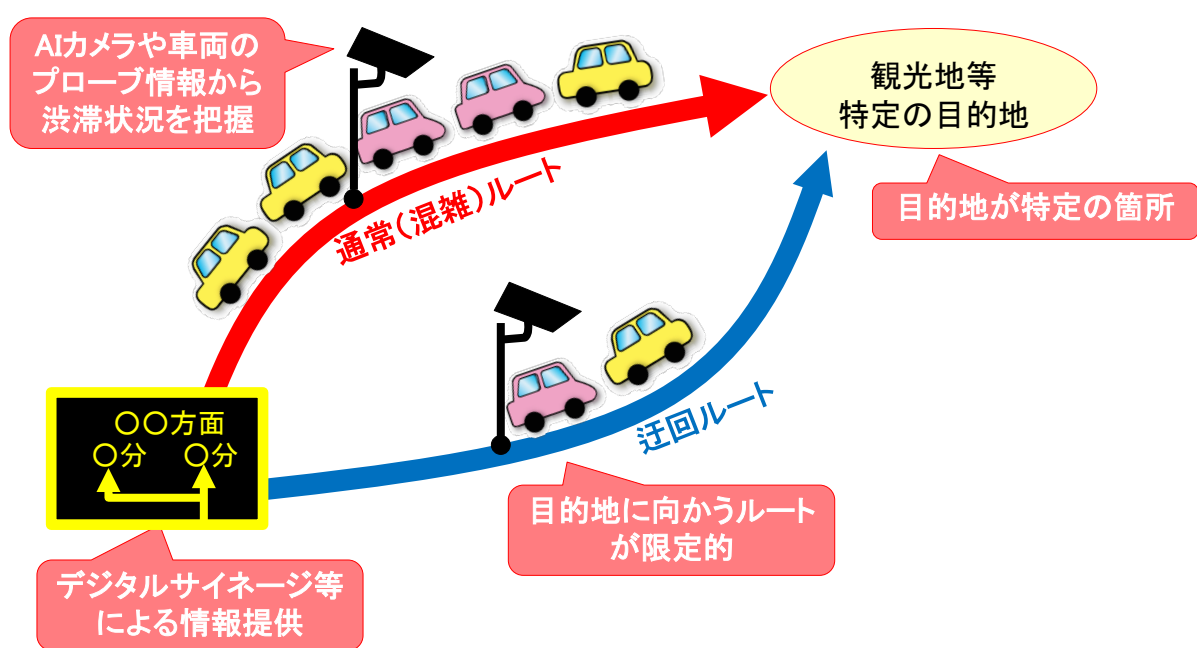
※令和3年後試行TDM施策参加者へのアンケート結果

3. TDM施策の検討

(5)通勤経路の変更に関する検討②リアルタイムでの情報提供事例の整理

実施箇所	実施目的	渋滞情報取得方法	情報提供内容(イメージ)	案内経路
湯布院 (大分県)	・観光地の渋滞緩和	・AIカメラを設置し、混雑状況を把握	〇〇方面 渋滞中	・通常ルートと迂回経路 の2ルート
日光 (栃木県)	・観光地の渋滞緩和	・車両のプロブ情報から走行データを 収集し、過去30分間の平均旅行時 間を算出	この先直進 〇〇分 この先右折 〇〇分	・通常ルートと迂回経路 の2ルート
東根・天童 さくらんぼ狩り (宮城・山形県)	・観光地の渋滞緩和	・交通情報観測機器により、混雑状況 を把握	〇〇方面 〇分 〇分	・一般道と高速道路の2 ルート

■既存のリアルタイム情報提供実証実験の主な構図



【既存のリアルタイム情報提供の取組】

- ・目的地が特定の1箇所かつ目的地に向かうルートが限定される地域で実施

【大分市中心部へ導入する場合の課題】

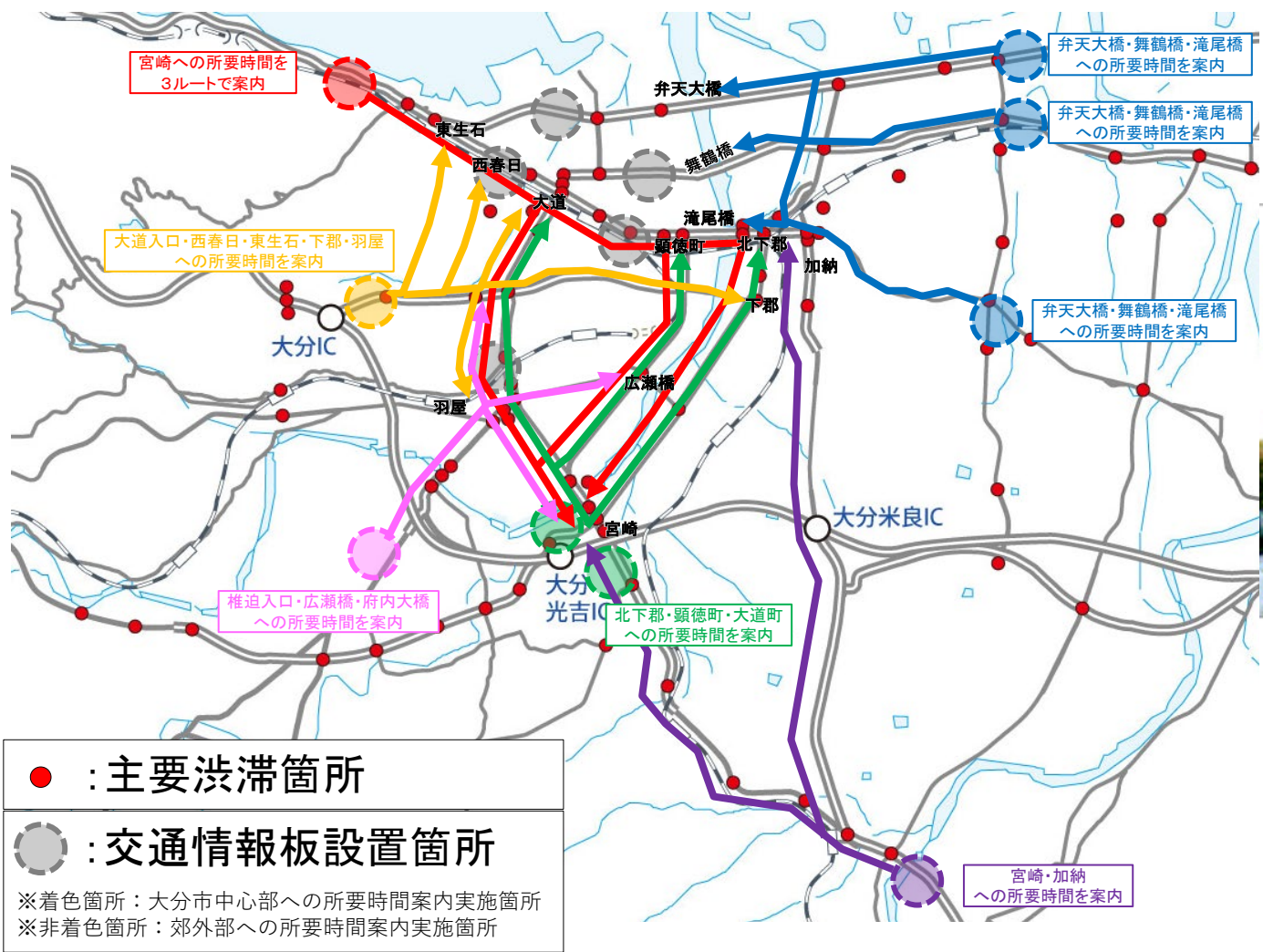
- ・大分市の場合は、多方面から多様な目的地となるためAIカメラ等の設置位置やルート選定が複雑となる

⇒今後、継続的に導入に向けた検討を進める

3. TDM施策の検討

(5)通勤経路の変更に関する検討③面的な経路変更促進手法の検討

- 大分市中心部においては交通情報板による所要時間案内を実施しており、中心部に向かう主要な幹線道路にて経路毎の所要時間を提供している。
- 次年度は、交通情報板の表示内容に基づいて、面的な経路変更の広報強化を促進。

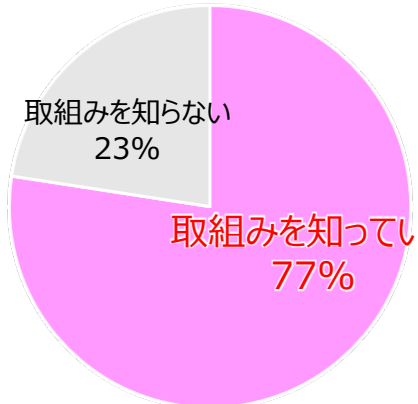
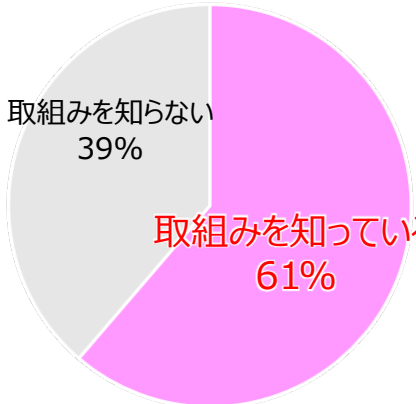
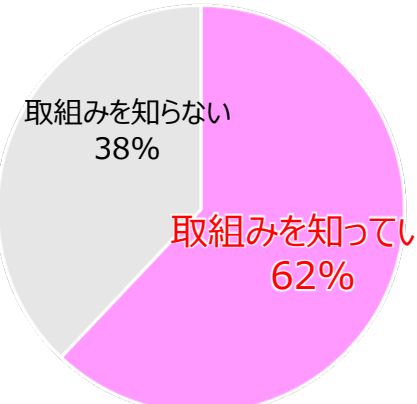


▲交通情報板
(所要時間案内)

3. TDM施策の検討

(6)既存施策との連携

- 大分県・大分市において、「ノーマイカーウィーク」「エコ通勤」「路線バス乗車モニター」等の施策を実施中。
- 令和3年度TDM賛同企業は、これらの取組の認知率がいずれも過半数となっており、取組に関心があることが伺える。
- そのため、次年度はTDM実施時期を既存施策と揃え、一体的に広報を実施することで、企業の参加意欲向上を図る。

	ノーマイカーウィーク	エコ通勤	路線バス乗車モニター
取組概要	・大分県にて、地球温暖化対策を目的として実施 ・「ノーマイカーウィーク」期間中は、公共交通機関の利用や徒歩、自転車への通勤により、自動車の利用を抑えることを呼びかけ	・大分県にて、地球温暖化対策や交通渋滞緩和・公共交通利用促進を目的として実施 ・大分市内及び別府市内の事業所に自家用車またはバイクで通勤している方が、毎週水曜日にバスで通勤する場合に料金を小人料金(大人料金の半額)に割引	・大分バス(株)、大分交通(株)、大分市にて、路線バスの利用促進を目的として実施 ・大分市内の事業所に日頃自家用車で通勤している方を対象にモニター参加を募り、希望する路線バスの1ヵ月区間定期券を無料配布
R3年度施行TDM協賛企業の認知状況	 取組みを知らない 23% 取組みを知っている 77% ※令和3年度試行TDM施策賛同企業へのアンケート結果 ※N=29	 取組みを知らない 39% 取組みを知っている 61% ※令和3年度試行TDM施策賛同企業へのアンケート結果 ※N=29	 取組みを知らない 38% 取組みを知っている 62% ※令和3年度試行TDM施策賛同企業へのアンケート結果 ※N=29

【次年度の方針】TDM実施時期を既存施策と揃え、一体的に広報を実施

3. TDM施策の検討

(7)TDM施策の今後の方針

■今後の実施内容(案)

今後の推進施策	次年度の実施内容	中長期的な検討内容
・TDM施策の継続的な呼びかけ	・「渋滞状況」「環境対策」「地域貢献」をより訴求する広報を実施 ・賛同企業の公表（記者発表・新聞掲載）を継続的に実施 ・賛同企業毎に参加人数・状況からCO ₂ 排出削減量を試算し、公表 ・自転車通勤のメリット（企業・従業員の立場双方）を整理し、配布 ・既存TDM施策と実施時期を揃え、一体的な広報を実施	・「高速道路の料金割引施策」「エコ通勤」の取組推進に向けた検討
・通勤経路の変更に関する検討	・交通情報板の表示内容に基づく経路誘導の広報強化	・大分市でのリアルタイム情報提供の導入に向けた検討

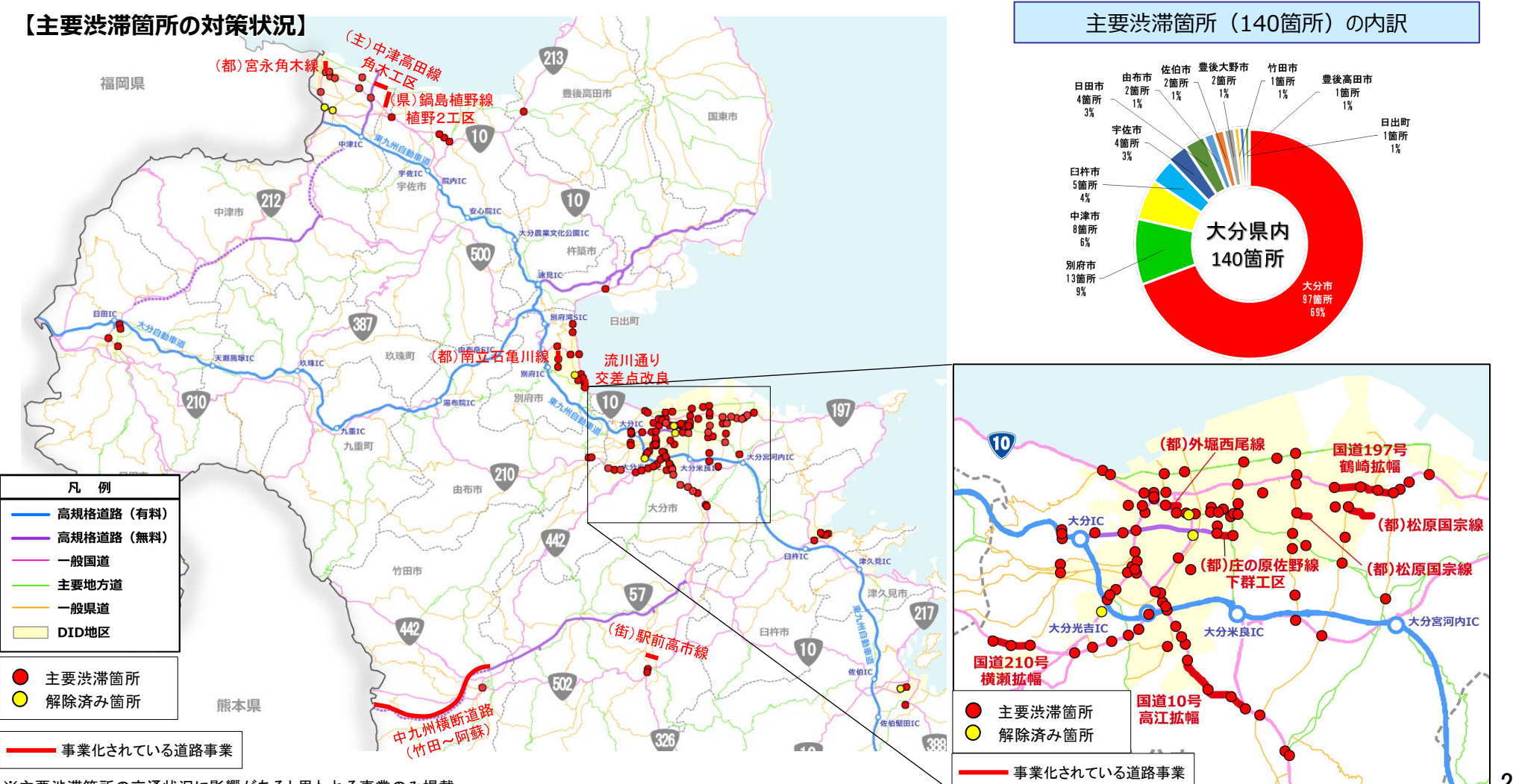
■スケジュール(案)

実施項目	R 4 年度	R 5 年度			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
協議会・WG等		●	●		●
検討・調整	→				
施策の試行			→		
効果検証				→	

4. 主要渋滞箇所の対策状況と今後の方針

(1)大分県における事業中の道路整備と主要渋滞箇所の対策状況

- 大分県では、現在、国道10号高江拡幅や(都)庄の原佐野線、中九州横断道路(竹田～阿蘇)等の道路事業を推進中。
- 上記のような大規模道路事業の他にも交差点改良等の事業が進められているが、主要渋滞箇所は140箇所が残存しており、その内約7割は大分市に集中。
- 今後もハード・ソフトの両面から対策の検討が必要である。



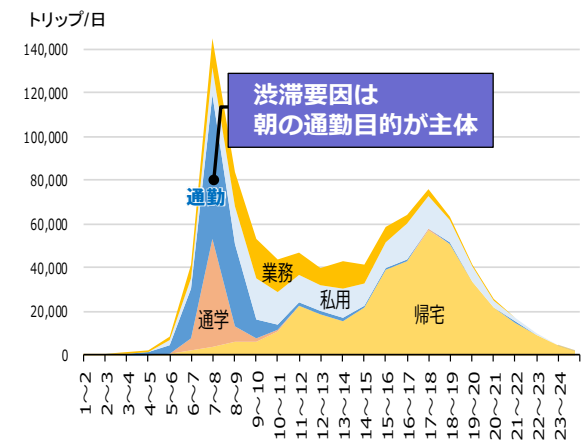
※主要渋滞箇所の交通状況に影響があると思われる事業のみ掲載

4. 主要渋滞箇所対策状況と今後の方針

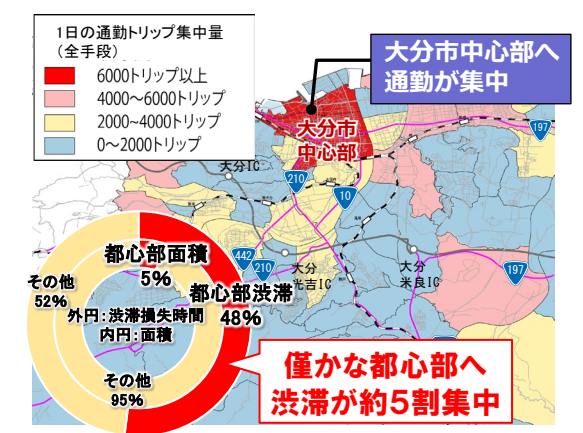
(2)大分市中心部における渋滞状況

○大分市は、朝ピーク時の通勤交通が多く、特に大分市中心部へ交通が集中。これらの交通を対象としたソフト施策は引き続き推進していくものの大分市中心部の主要幹線道路では慢性的に混雑している箇所が存在しており、渋滞要因の把握が必要。

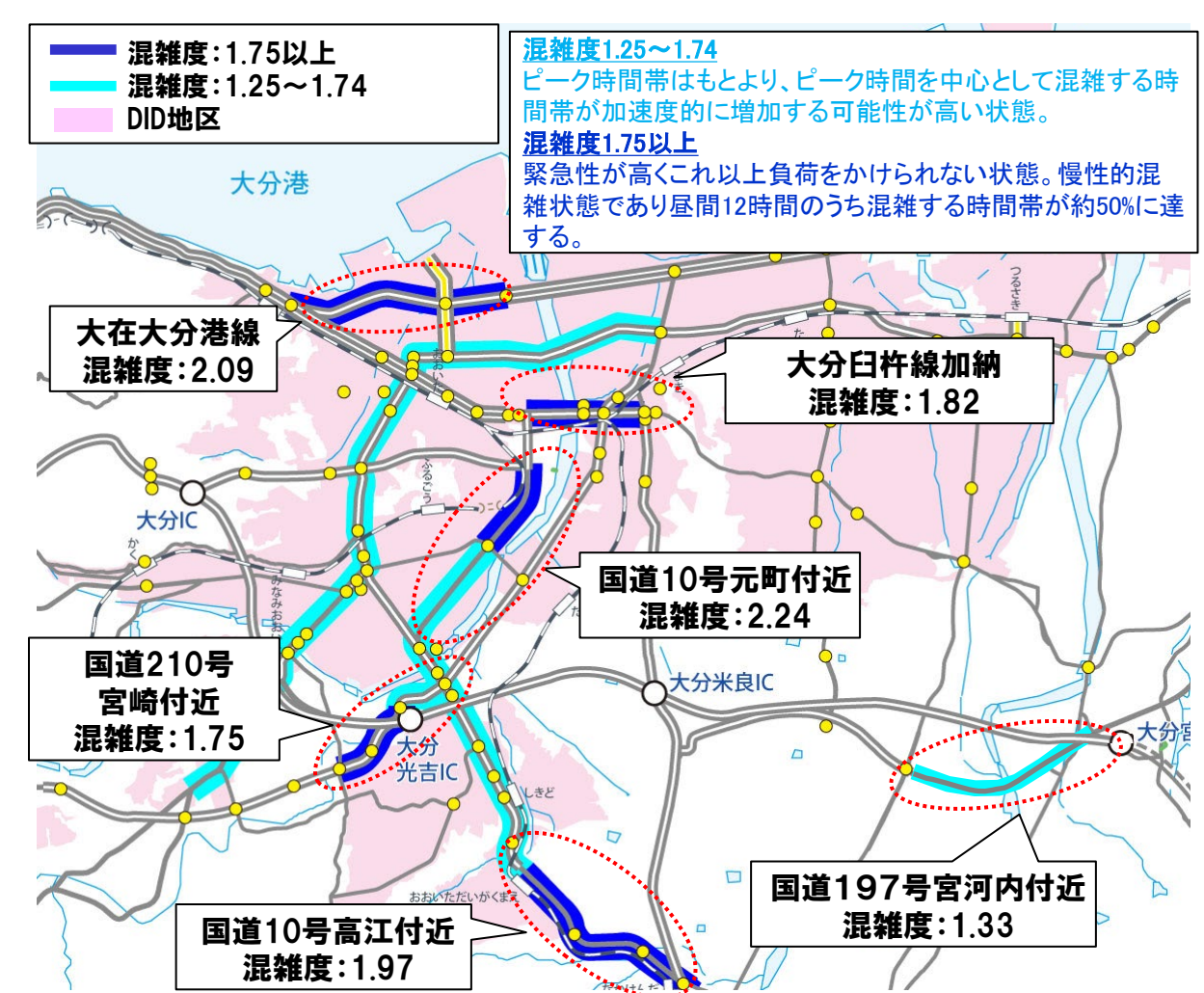
■大分市の時間帯別目的別トリップ数



■大分市における通勤先と渋滞状況



■大分市中心部の混雑度



5. 今後の進め方

- 最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングを継続的に実施。
- 構築した検討体制により、モニタリング結果等を有効に活用し地域毎の渋滞対策の検討を推進。

“交通渋滞対策協議会”による議論

- 最新の交通データによる渋滞状況の検証
- 地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証 等
- 主要渋滞箇所の指定及び解除の協議・判断

“検討部会(大分エリア)および 各道路管理者等(その他エリア)”による議論

- 交通状況のモニタリング(主要渋滞箇所のフォローアップ)
- 地域の交通課題の共有
- ソフト・ハードを含めた対策の検討・調整 等

